

日本学術会議 史学委員会 歴史学とジェンダーに関する分科会
第24期 第1回議事要旨

日時：2018年2月9日（金）15時～17時

場所：日本学術会議 5-C（2）会議室

出席者：久留島典子・井野瀬久美恵・海妻径子・小玉亮子・小浜正子・高橋裕子・
永原陽子・姫岡とし子（Skype参加）、平野千果子・星乃治彦・
三成美保・來田享子（11名）

議題

(1) 役員を選出

協議の結果、以下の役員が決定した。

委員長：井野瀬久美恵

副委員長：久留島典子

幹事：小浜正子・來田享子

(2) 今期の課題

井野瀬委員長より、配布資料（SCJ 第23期-290922-23340500-021）にもとづき、第23期における活動の概要説明がなされた。前期の活動を踏まえ、2018年9月幹事会への提言書提出をめざすこと、このためには少なくとも8月初旬に第一部での査読を終えている必要があることが確認された。

提言書の内容に関する意見交換がなされた。

<提言書原案作成に関する主な論点>

- ・ 高校「歴史総合」科目学習指導要領は近く発表されるとのことなので、それには間に合わないが、2022年度の実施に向けて、新科目で重視されるはずの「歴史的思考力を養う」ために、ジェンダー視点が欠かせないことを、提言では説得的に展開する。
- ・ 第23期の提言（案）「歴史的思考力を鍛えるために-新たな高校歴史科目へのジェンダー史の導入」を踏まえ、5項目の内容を再整理し、提言（上限20頁）に付録をつける方向で検討する。
- ・ 付録を「アクティブ・ラーニング事例集」とすることについては、慎重に議論を進める
- ・ 付録が教育場面で活用される際に、学習者のエンパワーメントを重視する

- ・ 過去の人々のジェンダー課題との葛藤・闘争の結果としての現在・未来を考えさせる

上記意見交換の後、井野瀬委員長より各委員に以下の提出の依頼がなされた。

- ・ 本日の議論を踏まえ、提言（本文および付録）に盛り込む内容に関するコメントをA4用紙1枚程度に各自まとめる
- ・ 期日は2月25日（日）
- ・ 委員全員にCCでメール送信

(3) その他

久留島副委員長より、史学委員会メーリングリスト登録のためのアドレス公開可否について出席委員に確認がなされ、承諾された。